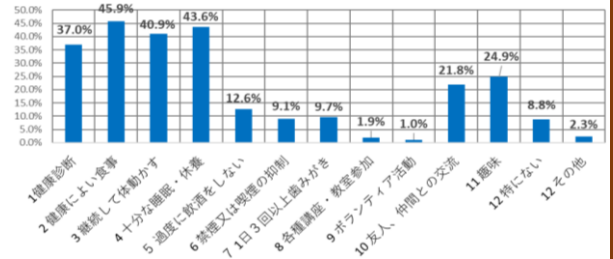


【町民ニーズ】

- 一人ひとりが生涯にわたって健康を維持したいと思っている。
- 健康寿命の延伸のためには地域や人とのつながりが必要と思っている。
- 健康維持のため、健診の受診や食事・体を動かすこと・睡眠に重点を置いているため、栄養や運動・睡眠についての講座に需要がある。
- 健康を維持するため測定や体験型の講座について受講者が多く、要望がある。

健康の維持・増進のために、どのような事に重点をおいて取り組んでいますか。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- 全国平均と比較すると町の不健康期間が長い。
- ひとや地域のつながりを継続的に維持していくため、ニーズに合わせた事業の実施と参加を促すことが必要。
- がん検診受診率は胃・子宮・乳は県平均と比べ低い。
- 寒川町における外来医療費の20.6%は生活習慣病関連（糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患）である。生活習慣病の治療は生涯続くため、町の社会保障費に大きく影響する。
- 75歳以上の医療費の上位に骨折が入っている。

第2指標を基に算出した市町村別がん検診受診率（H29）

	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
寒川町	6.1%	14.1%	16.2%	4.4%	7.3%
神奈川県	6.9%	9.0%	9.1%	13.5%	11.5%

【施策目標（目指す姿）】

- 町民の健康寿命が延伸している。
- 町民が日常生活の中で自主的に健康づくりに取り組んでいる。

【目標指標（単位）】

	基準年	R3	R4	R5	R6
平均自立期間（基準H30）	男性80.2歳 女性83.5歳	男性:80.2歳 女性:83.5歳	男性:80.3歳 女性:83.6歳	男性:80.4歳 女性:83.6歳	男性:80.5歳 女性:83.7歳
骨密度測定結果の普通平均域以上の割合	64.2%	64.4%	64.6%	64.8%	65.0%
胃がん検診受診率	4.7%	4.7%	4.8%	4.8%	4.9%
外来医療費のうち糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患が占める医療費の割合	20.6%	20.5%	20.5%	20.4%	20.4%



具体的な取り組み ～事務事業～

① 健康づくり事業

【事務事業目標】

- ・ 町民が健康づくりを通じて、ひとや地域とつながる機会を得ている。
- ・ 胃がんの検診受診者が増えている。

【目標指標（単位）】

健康づくり体操の日参加者数

基準年	R3	R4	R5	R6
1005人 (R1)	1005人	1030人	1055人	1080人

胃がん集団検診受診者数

基準年	R3	R4	R5	R6
284人 (R1)	284人	314人	314人	344人

【取組概要】

健康づくり体操の日を開催します。
健康運動ボランティアの養成・育成します。
胃がん集団検診を実施します。

② 特定健康診査事業

【事務事業目標】

町民が生活習慣病の発症及び重症化を適切に予防している。

【目標指標（単位）】

健康診査受診率

基準年	R3	R4	R5	R6
45.0%(R2)	47.0	49.0	50.0	50.0

【取組概要】

受診者、未受診者の要因分析を行い、実態に即した受診勧奨を行う。

③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業

【事務事業目標】

町民がフレイル及び生活習慣病重症化を適切に予防している。

【目標指標（単位）】

健康診査受診率

基準年	R3	R4	R5	R6
36.1%(R1)	38.0	40.0	40.3	40.5

【取組概要】

- ・ 現場出張型の健康づくり啓発により、受診勧奨を直接促します。
- ・ 関係機関との連携体制を強化し、効果的に健康づくりの意識の醸成を図ります。

フレイル説明

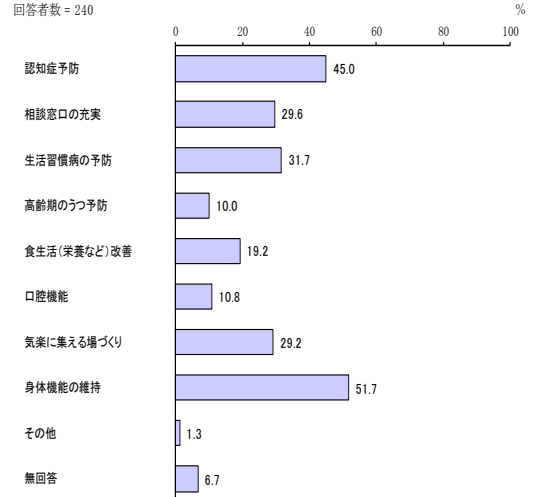
【町民ニーズ】

- ・ 要介護・要支援・フレイル状態にならないために身体機能の維持に対する支援のニーズが高まっています。
- ・ 自立した生活を送り続けるための知識やアドバイスを身近なところで得ることで生活を維持したいと考えている人がいる。
- ・ 本人・配偶者及び同居する家族への認知症・介護保険制度に対する支援のニーズが高まっています。

寒川町高齢者アンケート

問9（5）今後、健康づくりや介護予防の施策として充実していくことが必要だと思うことは何ですか（あてはまるもの3つまで選択）

回答者数 = 240



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 体を定期的に動かす機会がない。
- ・ フレイル予防の普及、健康教育を一体的に行えていない。
- ・ 人と話す機会が無く、家に閉じこもりがちになる高齢者が増えており、いざという時に頼れる人がいない。

【施策目標（目指す姿）】

自分のことは自分でできる高齢者が増えている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
外に出かけない割合 (%)	4	-	4	-	-
シルバー人材センター会員の活動延べ人数 (人)	34,399	33,606	34,817	35,423	36,029
シニアクラブ会員の事業参加延べ人数 (人)	4,740	4,750	4,800	4,850	4,900
一体的実施事業で関わった団体の場での参加者数 (人)	-	30	40	40	50



具体的な取り組み ～事務事業～

① 介護予防事業

【事務事業目標】

地域とつながり外出する高齢者が増えている。
動機となる運動自主グループの増加を目指す。

【目標指標（単位）】

健康づくり事業の参加延べ人数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
6,617	5,464	5,560	5,672	5,768

【取組概要】

元気はっけん広場、高齢者健康トレーニング教室で運動の場を提供し、自主運動グループの増加を支援するため介護予防講師の派遣を行う。

② 高齢者社会活動支援事業

【事務事業目標】

高齢者が社会活動の場を通じて定期的に体を動かす機会と外出する機会を得ている

【目標指標（単位）】

シルバー人材センター会員数

基準年	R3	R4	R5	R6
278	308	325	343	

【取組概要】

シルバー人材センターの活動を支援し、高齢者の新たな仕事の掘り起こしを行い、会員の活動機会を増やすことができるようにする。

③ 高齢者生きがいづくり等支援事業

【事務事業目標】

高齢者が地域での生きがいを持ち、定期的な外出の機会を得ている。

【目標指標（単位）】

会員数の増

基準年	R3	R4	R5	R6
690	695	700	705	710

【取組概要】

シニアクラブの活動を支援し、クラブの活性化を通じ、会員相互の親睦の機会を増やすことができるようにする。

④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

【事務事業目標】

高齢者が住み慣れた地域で一体的な保健指導や健康支援を受けている

【目標指標（単位）】

一体的実施事業に関わった団体数

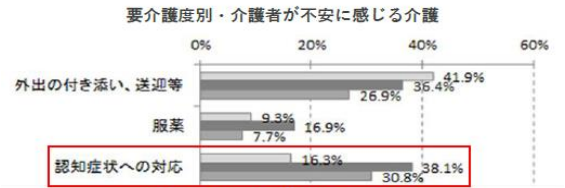
基準年	R3	R4	R5	R6
-	3	4	4	5

【取組概要】

通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）を行い、フレイル予防啓発や健康教育を行う。

【町民ニーズ】

- ・ 認知症の人とその家族等を支える仕組みづくりが求められています。
- ・ 在宅介護・医療の相談窓口や関係機関との連携に関する施策の充実要望がある。



※要介護1以上の認定者の介護者は、認知症状への対応を最も不安に感じています。

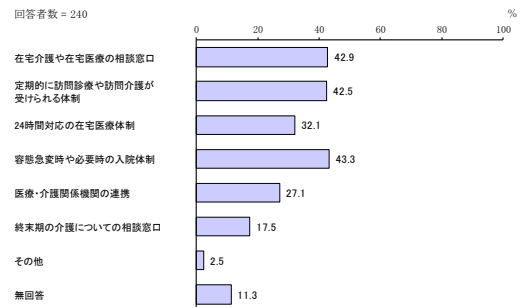
□ 要支援1・2(n=43) ■ 要介護1・2(n=118) ▨ 要介護3以上(n=52)

資料：令和元年度 在宅介護実態調査結果(抜粋)

【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 高齢者人口の増加とともに、認知症の人の割合が増加しています。
- ・ 高齢者世帯や地域には多様な個々人の困りごとがあります。
- ・ 認知症の人とのトラブルを防ぐために、認知症に関する正しい知識や、具体的な対応方法等を周知する必要があります。
- ・ 高齢者が住み慣れた地域で継続して生活するための生活支援等サービスの創出が必要です。

寒川町高齢者アンケートより 問9（8）今後、町が実施する在宅介護・在宅医療に関する施策等で、特に充実させてほしいことは何ですか（3つまで選択）



【施策目標（目指す姿）】

地域が支えることで高齢者が住み慣れた環境で暮らし続けることができる。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
認知症サポーター数（人）	8,441	8,891	9,341	9,791	10,241
多職種連携研修会参加満足度（%）	92	100	100	100	100
生活支援・介護予防サービス開発数（個）	—	1	0	1	0



具体的な取り組み ～事務事業～

① 認知症サポーター養成事業

【事務事業目標】

認知症の人とその家族等が地域に支えられて暮らすことができている。

【目標指標（単位）】

認知症サポーター養成講座受講者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
450	450	450	450	450

【取組概要】

町内に在住・在学・在勤する人が、認知症の人やその家族等を支える人材となれるよう「認知症サポーター養成講座」を実施します。

② 在宅医療・介護連携推進事業

【事務事業目標】

医療と介護の関係機関が連携体制することで、充実した医療・介護・保健サービスが提供できている。

【目標指標（単位）】

多職種連携研修会参加者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
—	600	600	600	600

【取組概要】

多職種の関係者が効果的に連携する体制を構築するために、多職種連携研修会を開催します。

③ 生活支援体制整備事業

【事務事業目標】

高齢者の必要とする生活支援等サービスを抽出し、開発に結び付けている

【目標指標（単位）】

生活支援・介護予防必要サービス抽出数（個）

基準年	R3	R4	R5	R6
—	1	1	1	1

【取組概要】

基盤整備推進会議を中心に、町の地域資源を活用し、生活支援等サービスに関して必要な基盤の整備を協議、開発、推進する。

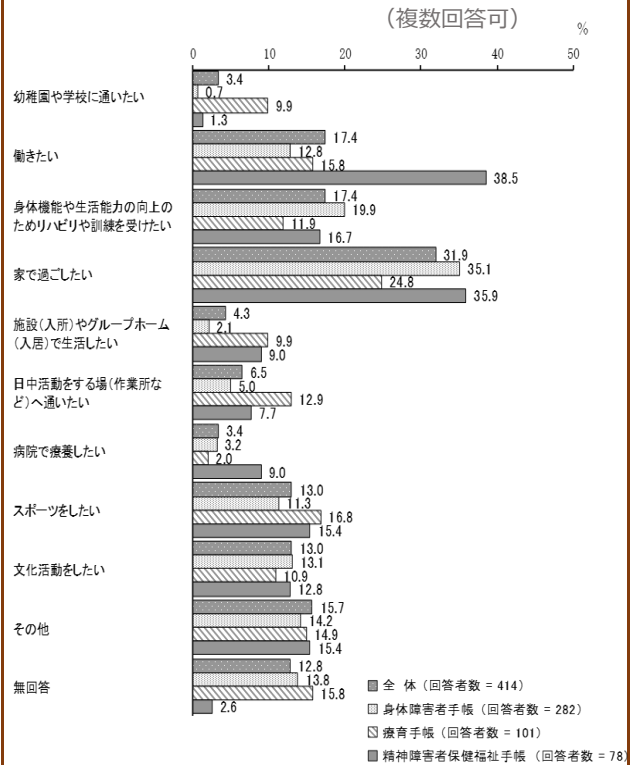
【町民ニーズ】

- 働きたいという意欲がある障害のある人に対し、その適性に合った職場の確保が求められています。
- 相談支援により、障害のある人の抱える課題を解決することが期待されています。
- 緊急時の対応や障害のある人のライフステージに応じた多岐にわたる障害福祉サービスの活用をコーディネートする相談支援機能の強化が求められています。

【町内を取り巻く環境（課題等）】

- 障がい者の就業・就労については、国でも様々な施策が打ち出されていますが、就業・就労までつながっていない状況にあります。また、障がいについての配慮や理解不足により、就業・就労の継続ができないケースも生じています。
- 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、緊急時の対応調整を含め、町の実情にあった障がい者の生活を地域で支えるサービスの提供体制の強化が必要となっています。

あなたがこれからしたいと思う活動をお答えください。

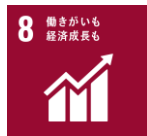


【寒川町障がい者福祉計画見直しのためのアンケート調査 (令和2年2月14日～3月9日に実施) 結果報告書より抜粋】

【施策目標（目指す姿）】

障がいのある人が、その人に合った活動・就労の機会を得ることにより、地域社会の一員として暮らしている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
一般企業への就労者数（人）	6	6	7	8	9
緊急時の対応率（%）	—	100	100	100	100



具体的な取り組み ～事務事業～

① 就業・就労支援事業

<p>【事務事業目標】 働きたいという意欲がある障がいのある人が、その適性にあった就業・就労をすることができている。</p>	<p>【目標指標（単位）】 一般就労に向けたサービス受給者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準年</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17 (R元)</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	基準年	R3	R4	R5	R6	17 (R元)	16	16	16	16
基準年	R3	R4	R5	R6							
17 (R元)	16	16	16	16							
<p>【取組概要】 就業・就労や就業・就労に伴って生じる生活上の問題に対し、相談や支援を行う。</p>											

② 相談支援事業

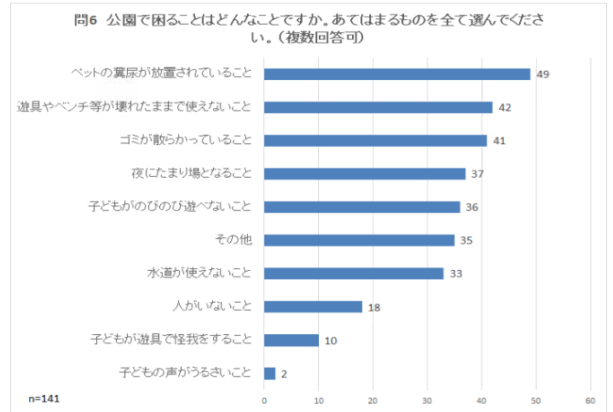
<p>【事務事業目標】 障害のある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができています。</p>	<p>【目標指標（単位）】 相談支援件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準年</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2497(R元)</td> <td>2,427</td> <td>2,427</td> <td>2,427</td> <td>2,427</td> </tr> </tbody> </table>	基準年	R3	R4	R5	R6	2497(R元)	2,427	2,427	2,427	2,427
基準年	R3	R4	R5	R6							
2497(R元)	2,427	2,427	2,427	2,427							
<p>【取組概要】 精神保健福祉士の配置、相談事業所及び基幹相談支援センターの委託を継続することで、多様な相談内容に対応していく。</p>											

③ 地域生活支援拠点充実事業

<p>【事務事業目標】 障がいのある人が緊急時に居場所が確保できるようにする。</p>	<p>【目標指標（単位）】 緊急時の居場所確保数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準年</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	基準年	R3	R4	R5	R6	—	2	2	2	2
基準年	R3	R4	R5	R6							
—	2	2	2	2							
<p>【取組概要】 緊急時にすぐに相談でき、必要に応じて受入れ対応等を行う地域生活支援拠点の取り組みを進める。</p>											

【町民ニーズ】

- 公園や緑地において、細やかな管理が求められています。
(遊具やベンチ等の修理、植物の剪定など)
- いつもきれいな公園であることが求められています。
(ペットの糞尿やごみの放置など)
- 子供達のがのびのび遊べる、安全・安心して遊べる公園が求められています。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- 公園・緑地への細やかな対応ができる体制が取れていない。
(植物の剪定、清掃など)
- 施設全体が古くなってきており、手入れが必要な施設が増加している。
(遊具やベンチ等の修理)



【施策目標（目指す姿）】

誰もが公園・緑地等を地域の庭として親しんでいる

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
公園・緑地等の満足度	58	60	62	64	66



具体的な取り組み ～事務事業～

① 公園等協働事業

【事務事業目標】

地域住民が地域の公園や緑地の管理や活用に関わっている

【目標指標（単位）】

公園愛護会登録団体数（団体）

基準年	R3	R4	R5	R6
0	9	12	15	18

【取組概要】

地域住民のニーズを捉えながら、公園・緑地等を協働により管理・活用する体制を根付かせる。



壊れて座れないベンチ



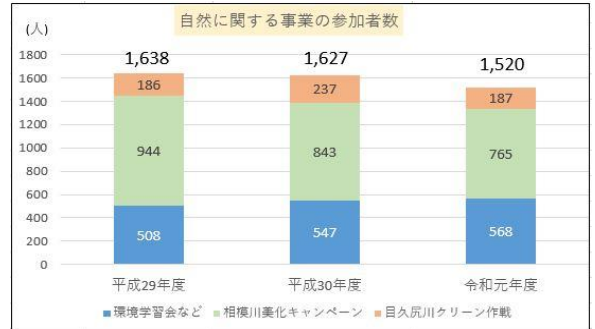
蛇口が壊れている水飲み場



剪定が追いつかない植栽や樹木

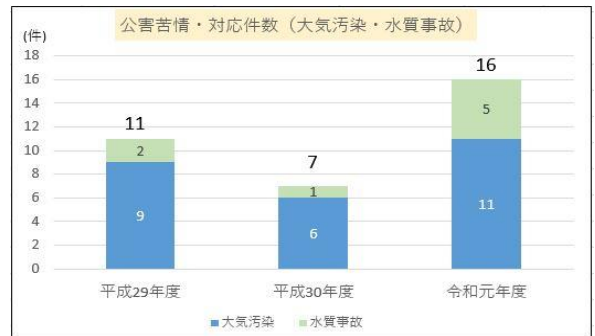
【町民ニーズ】

- ・ 水がきれいで、緑豊かな自然環境が求められています。
- ・ 子供から大人まで気軽に自然に触れることができる環境づくりが求められています。(アンケートで「自然に触れ合う機会がない」と44%の方が回答)
- ・ 自然環境の不満については「水辺に親しめる場所がない」「川にごみが多い」「自然に関するイベント等の情報を知らなかった」という意見が多く寄せられています。(アンケート)
- ・ 大気汚染や水質汚濁などの公害を防止するための取組が求められています。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 環境学習講座や自然観察会の参加人数は増加傾向であり、さむかわエコネット事業として実施している目久尻川クリーン作戦は一定の参加がある。
- ・ 一方で、毎年5月実施の相模川美化キャンペーンの参加人数は減少傾向にある。
- ・ 製造業が多い産業構造であるため、大気や水質などの公害防止対策を重点的に行う必要がある。



【施策目標（目指す姿）】

- ・ 町民が自然豊かな寒川町に幸せと誇りを感じている。
- ・ 町、町民、環境団体、事業所が一体となって自然環境の保全に取り組んでいる。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
自然に関する事業の参加者数(人)	1,520	1,530	1,540	1,555	1,570
町内事業所に起因する大気汚染苦情件数(件)	4	3	2	1	0
町内事業所に起因する水質事故対応件数(件)	2	1	1	0	0



具体的な取り組み ～事務事業～

① 自然共生推進事業

【事務事業目標】

町民が町内の自然の豊かさを認知し、自然とふれあっている。

【目標指標（単位）】

自然に関する事業の参加団体数（団体）

基準年	R3	R4	R5	R6
53	54	55	56	57

【取組概要】

自然体験事業や河川美化活動を実施します。
また、環境団体との協働を進めます。

② 公害防止対策事業

【事務事業目標】

事業所からの水質汚濁、大気汚染などの公害を防止し、豊かな自然を守る。

【目標指標（単位）】

環境保全研修会の参加事業所数（事業所）

基準年	R3	R4	R5	R6
21	22	23	24	25

【取組概要】

水質・大気調査を実施します。
事業所への公害防止に関する周知啓発及び研修会を実施します。



基本目標	こころ穏やかに暮らせる「まちづくり」		
3	政策	住環境の整備	
	2	施策 1	住環境の向上

【町民ニーズ】

- 住宅の耐震診断や改修工事費用の負担が大きいことから、補助制度の継続及び充実が求められています。
- 空き家の適正な管理が求められています。
- 空き家所有者の悩みを解消する支援のニーズが高まっています。
- 安全で快適な道路移動空間の確保が求められています。

【町内を取り巻く環境（課題等）】

- 住宅の耐震化の必要性について危機意識の醸成が必要。
- 耐震改修工事に必要な多額の費用が住宅耐震化の阻害要因となっている。
- 人口減少や既存住宅・建築物の老朽化、社会的ニーズの変化及び産業構造の変化等に伴い、空き家が増加することが予想される。

調整中です。



【施策目標（目指す姿）】

誰もが快適で安全安心な住環境が整っている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
住宅の耐震化率（％）	89	90	91	92	93
問題空き家の解体・活用件数（件）	0	5	5	5	5



具体的な取り組み ～事務事業～

① 耐震改修促進事業

【事務事業目標】

震災に対する危機意識が高まり、耐震が進んでいる

【目標指標】

無料耐震相談の申込件数

基準年	R3	R4	R5	R6
4	4	8	8	8

【取組概要】

- ・ 建築士による無料耐震相談を実施します。
- ・ 耐震診断や改修工事費用の一部を補助します。

② 空き家対策事業

【事務事業目標】

空き家による周辺の生活環境の悪化を防ぐため、空き家所有者が適切に対応できるようにする

【目標指標】

空き家所有者から専門家への相談件数

基準年	R3	R4	R5	R6
0	2	4	6	8

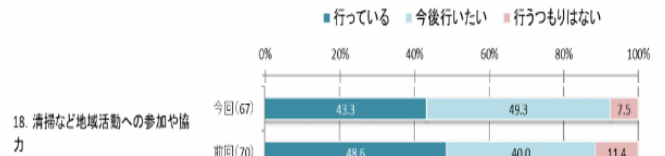
【取組概要】

- ・ 空き家に係る相談体制を整備し、専門家団体等との連携による対策を進めます。

【町民ニーズ】

- ・ ごみのポイ捨てに関する苦情が発生しており、散乱ごみや不法投棄のない美化環境づくりが求められています。
- ・ 住民も事業所も気軽に参加でき、取り組みやすい美化活動の創出が求められています。

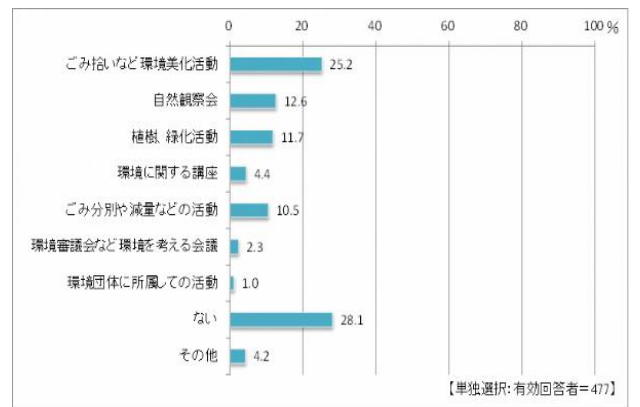
事業所アンケート
「環境保全のための現在の取り組み」 (一部抜粋)



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 事業所の約95%が「清掃など地域活動への参加や協力」を行うつもりがある中で、実際の活動につなげる必要があります。
- ・ 町内一斉に実施する「まちぐるみ美化運動」は、自治会や団体のほか事業所の参加も定着してきました。
- ・ 住居の敷地内などへのごみのポイ捨てに関する苦情が毎年発生しています。
- ・ 町民が今後参加してみたい環境活動は「ごみ拾い」が最も多かったため、地域の住民が参加しやすい地域美化の取組が課題となっています。

町民アンケート「今後、参加してみたい活動」



【施策目標（目指す姿）】

地域で地域を美しくする意識が向上し、自主的に地域の住民及び事業所が公園や道路等をきれいな状態に保っている。

【目標指標（単位）】

	基準年	R3	R4	R5	R6
自主的な環境美化活動の参加人数(人)	1,818	1,820	1,825	1,830	1,835



具体的な取り組み ～事務事業～

① 地域美化活動推進事業

【事務事業目標】

地域の住民や事業所が自主的に地域を清掃している

【目標指標（単位）】

自主的な環境美化活動の実施回数（回）

基準年	R3	R4	R5	R6
50	52	53	54	55

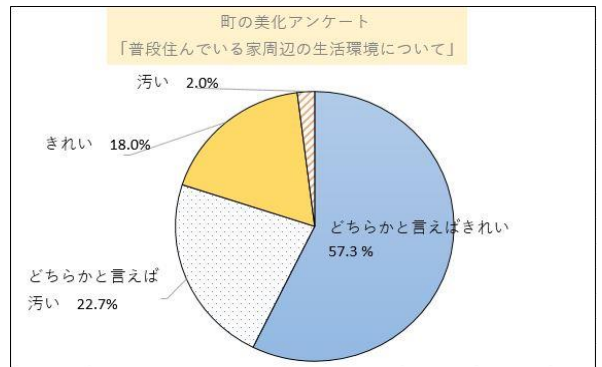
【取組概要】

- ・地域美化意識を啓発するとともに、ごみを捨てさせない環境づくりを進めます。
- ・事業所等に働きかけ、自主的に地域を清掃する活動につなげます。



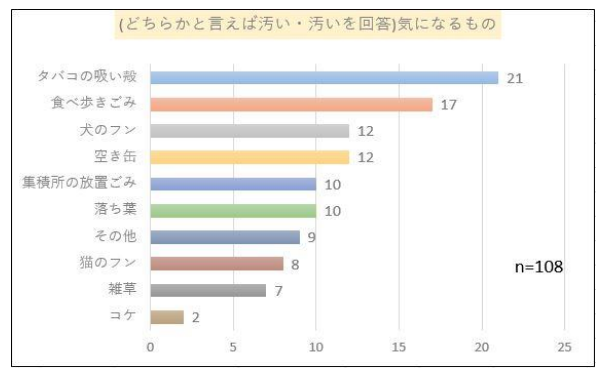
【町民ニーズ】

- ・ 犬猫のふんに関する苦情が発生しており、清潔で心やすらく生活環境づくりが求められています。
- ・ 飼い主の適正飼養やマナー向上、飼い主同士のつながり形成による、動物と共生できるまちづくりが求められています。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ ペットのふんの放置など飼養に関する苦情が発生しており、適正飼養の啓発が課題となっている。
- ・ 飼い主のいない猫によるふん尿苦情も発生しており、飼い主がいないことから対策が困難な状況となっている。（令和元年度の動物苦情件数は21件、そのうち犬が10件、猫が8件）



【施策目標（目指す姿）】

町民が動物と共生して心穏やかに暮らしている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
動物に関する苦情件数(件)	21	20	19	18	17



具体的な取り組み ～事務事業～

① 動物対策事業

【事務事業目標】

- ・飼い主がペットの特性を知り、マナーを守って飼養している。
- ・飼い主のいない猫によるふん尿被害が減少している。

【取組概要】

- ・適正飼養の周知啓発及び事業実施、猫の不妊・去勢手術費助成の実施、ボランティア団体との協働
- ・新規イベントやドッグラン設置の検討

【目標指標（単位）】

動物関連イベントの参加者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
371	375	380	385	390

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術実施件数（件）

基準年	R3	R4	R5	R6
153	155	160	165	170



【町民ニーズ】

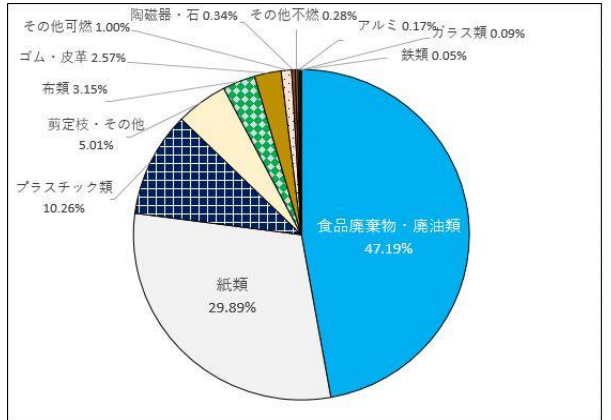
- ・ ごみ、資源物の分別方法と収集場所(置場)が複雑でわかりにくい、という問合せを頂くため、分別収集のよりわかりやすい案内が求められています。
- ・ ごみ、資源物の収集方法、日程についての問合せや要望が増加しています。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ ごみの意識調査で「分別などのルールを守っている」と答えた人は約86%に対し、可燃ごみ組織分析では紙類やプラスチック類などの資源化できるものが約40%あり、分別の意識はあるものの、分別はできていない状況である。
- ・ 同調査で、ごみが増える理由として、「分別がわかりにくく、リサイクル可能なものもごみとしています」が約29%と高かった。
- ・ 可燃ごみの約半数が生ごみであるため、食品ロス減少の意識向上が特に必要である。

家庭系可燃ごみのごみ組成調査結果



【施策目標（目指す姿）】

町民一人ひとりが積極的にごみの減量化・資源化を行い、1日当たりのごみ排出量が減少している

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
一人1日当たりのごみ排出量（排出原単位）（単位：g／人・日）	784(R元)	750	740	730	729



具体的な取り組み ～事務事業～

① ごみ減量化・資源化推進事業

【事務事業目標】

- ・町民に分別方法が正しく浸透し、資源化が進んでいる。
- ・町民に食品ロス減少への意識が浸透し、ごみ排出量が減少している。

【取組概要】

- ・分別方法をよりわかりやすく周知します。
- ・食品ロスに関する情報提供や啓発活動を実施します。（例：環境課の機関紙、出前講座、フリーマーケットなど）

【目標指標（単位）】

家庭系ごみの量（t/年）

基準年	R3	R4	R5	R6
8,216(R元)	7,999	7,959	7,941	7,940

資源物の量（t/年）

基準年	R3	R4	R5	R6
2,611(R元)	2,467	2,430	2,402	2,402

事業系ごみの量（t/年）

基準年	R3	R4	R5	R6
3,061(R元)	2,557	2,430	2,307	2,306